

22. 眼科（選択）

1. 一般目標（GIO）

頻繁に遭遇する眼科領域の疾患に適切に対応できるよう、眼科プライマリーケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を修得する。

2. 具体的目標（SBOs）

（1）経験すべき症状・病態・疾患

1）頻度の高い症状に適切に対応できる

- ① 視覚障害、視野狭窄
- ② 結膜の充血

上記をおこす疾患について自ら診療し、鑑別診断を行う。

また、眼科的主訴から他科疾患を疑い、専門医を紹介する能力を身につける。

（耳鼻科、内科、脳外科、神経内科、皮膚科等）

2）緊急を要する症状・病態を把握できる

- ① 急性感染症 眼科的なもの：流行性角結膜炎、その他
他科との関係があるもの：敗血症、髄膜炎、真菌症、特殊なウィルス感染
- ② 外傷の初期治療に参加する
- ③ 熱傷の初期治療に参加する

3）経験が求められる疾患・病態を説明できる

* 印疾患については、外来診療又は、受持ち入院患者で自ら経験すること

* 屈折異常（近視、遠視、乱視）

* 角結膜炎（特に流行性角結膜炎）

* 白内障

* 緑内障

糖尿病性網膜症・高血圧、動脈硬化による網膜症

未熟児網膜症

4）特定の医療現場に参加する

① 救急医療の現場を経験すること

- ・ 眼外傷の初期治療を経験する。
- ・ 専門医への適切なコンサルテーションができること。

② 小児・成育医療の現場を体験すること

- ・ 乳幼児検診、学校検診への参加、市の発達障害センターの見学。
- ・ 未熟児網膜症の定期的な検診。

5）経験すべき診察法・検査・手技

屈折検査

視力検査

眼圧測定

細隙灯顕微鏡検査

眼底検査

動的・静的視野検査

両眼視機能検査

3. 方略

OJT(on the job training)

- 1) 水曜、金曜の朝 8 時 30 分から術後診察を上級医とともに行う
- 2) 外来診察を行う。症状・病態を把握し上級医とともに診断に必要な検査を行う
- 3) 手術日（毎週火曜日、木曜日午後）は上級医の指導のもと白内障手術を行う

週間スケジュール（昨年度のものと同様の表をいれてください）

＊第 3 月曜日のみ

4. 評価

（1）形成的評価

各疾患の外来・入院患者を上級医師と診察し、経験した疾患に対する発表することで、正しい病態の知識や診療 技能の修得に役立てる。

（2）総括的評価

具体的目標に挙げた眼科疾患における診療態度、技能を EPOC2 に従って評価する。